

2016/12/28 19:15 神戸新聞NEXT

加古川の3神社に酉の絵馬登場



拝殿前に設置された巨大絵馬＝加古川市加古川町大野、日岡神社

拡大

今年も残りわずか。兵庫県加古川市内の神社では、2017年の干支（えと）の酉（とり）を描いた絵馬が登場したり、掲げる準備を進めたりしている。新年の初詣客を楽しませそうだ。（津田和納、辰巳直之、伊丹昭史）

■ニワトリの大家族描く巨大絵馬 日岡神社

日岡神社（加古川市加古川町大野）の拝殿前には、ニワトリとヒヨコの大家族を描いた巨大絵馬（高さ3・5メートル、幅5メートル）が登場した。酉（とり）年の2005年から始め、来年で干支（えと）がちょうど一巡したことになる。

同神社が安産の神様を祭ることにちなみ、子宝に恵まれた動物の家族を描くのが恒例。鏡餅を囲んでだんらんするニワトリとヒヨコ計29羽を、平成29年となる新年に向けて描いた。同神社の日岡幾朗宮司（74）は「鳥は幸せを運ぶ生き物。飛翔（ひしょう）の年になりますように」と願っている。

■神吉八幡神社に「赤色野鷄」の絵馬奉納 加古川の和太鼓集団

加古川市を拠点に活動する和太鼓集団「鼓欣衆（こきんしゅう）」は、2羽の鳥を描いた絵馬を制作し、かつて練習場所だった神吉八幡神社（同市西神吉町宮前）に奉納した。

5年前から稲わら製のみこしや絵馬を奉納している。今年は高さ、幅とも約1・8メートルで、モチーフはニワトリの祖先種とされるセキショクヤケイ（赤色野鷄）。代表の松村聡さん（72）は「来年が明るい年になるよう祈願し、尾をカラフルな配色にした」と話した。

31日から約10日間、拝殿前に掲示する。

■親より大きいヒヨコの絵馬 平之荘神社

平之荘神社（加古川市平荘町山角）では、親のニワトリよりも、はるかに大きなヒヨコの誕生シーンを描いた絵馬（幅約1・6メートル、縦約0・9メートル）が現れた。

同市志方町出身の画家、久保田裕美さん（34）＝愛知県刈谷市＝がかわいらしいイラストを描いて奉納した。

先代宮司の依頼を受け、2007年暮れから毎年制作している。久保田さんは「ヒヨコはかわいく、ふわふわした感じに描いた。親子の大小を逆にしたのは初めて。見る人の人生経験によって、違う見え方になるのでは」と話した。



大きなヒヨコがかわいらしい絵馬＝加古川市平荘町山角、平之荘神社

拡大



色鮮やかな絵馬を奉納した和太鼓集団「鼓欣衆」のメンバー＝加古川市西神吉町宮前、神吉八幡神社

拡大